

No.3

【宮城県石巻市】巻石トマトジュースとガスパチョ（仮称）



■ ニイヌマ 株式会社

従業員数：60名



建築資材の製造販売会社として石巻市で107年前に創業。昭和初期には資材リサイクル事業なども手掛けた。東日本大震災による被災地復旧の為、震災直後は大きな需要があったが、7年たった今、石巻市の企業として、市内の産業復興や雇用創出が大きな課題だと実感してきた。3代目である現社長は一昨年に市内の園芸作物団地の一部を買い取り、個人として農業法人を設立、昨年からはトマト栽培を始めている。栽培方法により味の優劣がはっきりするトマトにスポットを当て、これまで培ってきた本業での技術を活かしながら、低コストで品質のよいトマト栽培に挑戦。石巻のブランドトマトとして育て、市内の産業や雇用創出に貢献したいとの熱い思いを抱いている。



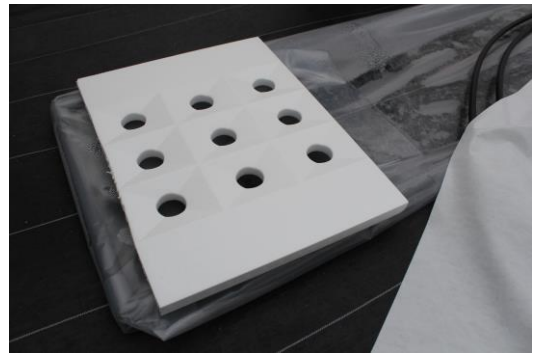
▲代表取締役社長 新沼 利英さん



▲ハウスの様子



▲管理には細心の注意を払う。



▲最新の栽培方法「メディオール式」

生産地：宮城県石巻市

石巻市の人口は公表14.5万人。宮城県第二の都市であり、太平洋沿岸の水産業の町として全国的にも名高い。東日本大震災により沿岸地域を中心に大きな被害を受けたことから人口流出が続き、今なお、市内には被災の爪痕が感じられる地域が少なくない。市の重要な産業である水産加工業各社はおおむね8割方が製造現場の復旧にこぎつけたが、震災前もしくはそれ以上の売上を戻している企業はまだまだごく一部に限られる。水産物以外にもトマトやいちご等の園芸作物の産地としても知られており、内陸部ではこれらの栽培団地が徐々に再建されており、農水産物両産業の本格的な復興が待たれている。



▲金華山



▲石巻漁港

■ 商品：巻石トマトジュースとガスパチョ（仮称）

品名	トマトジュース、ガスパチョ
原材料	トマトジュース：ミニトマト、食塩 ガスパチョ：ミニトマト、酢、岩塩、コショウ、オリーブ油
内容量	瓶タイプ：500ml×2本
賞味期限	6ヶ月（予定）
保存方法	常温
希望小売価格	¥2,000



現時点では試作段階であるが、地元の種苗会社が開発した「けっさくくん」という品種のトマトを使用し、メディオール式という最新の栽培方法を取り入れたハウスで、フルーティで雑味のないトマトジュースを製造、販売する予定。ガスパチョは仙台市内のスペイン料理のシェフからレシピを譲り受け、本場のガスパチョを飲みやすい味にして提供する。いずれもトマト本来の美味しさを味わっていただくには最適な栽培、加工製品として訴求したい。因みに「巻石」としたのは、石巻市の名前の由来となった石の名前。その名を商品名に使うことで、多くの人にあらためて石巻市への関心をもってほしいの思いから。今までにない発想や技術から生まれたトマトジュースとガスパチョを石巻名産としたいと思っている。

デザイン要件

現在のパッケージについて (参考)

※新商品のため、パッケージはございません。

新パッケージについて

商品名の変更	商品ロゴの変更	包装容器の変更	社名ロゴの記載
○	○	○ (瓶/500ml×2本)	不要

デザイン 変更の範囲

- 包装容器は瓶 (500ml程度)。
- 現時点では製品化できていない為、デザインアイディアはある程度自由。

新デザインの 優先事項

- 震災後、一念発起して商品開発やハウス設備などに投資してきており、何としても石巻の特産ブランドにしたいとの思いが強い。ブランド品として認知、普及されるようなインパクトあるデザインを希望。石巻の地域性を優先するのではなく、本商品が売れることで石巻を有名にしていきたいと考えている。
- 上記を踏まえて、ジュース、ガスパチョはできればお洒落な瓶タイプのものをギフトセット化したいと思っている。瓶は多少変形であっても高級感やおしゃれ感があるのであれば採用したい。もらった人が捨てたくないと思うようなデザイン。(将来的にはトマトピクルス等のシリーズ化商品の実現や瓶を使っのミニトマト栽培を自宅でできるような栽培キットの販売まで考えているので、それを視野にいれた応用ができるデザインというのも有難い)

ターゲット 販路・希望

- 現在はテスト的に市場経由、卸売り販売をしている状況だが、本格的な生産を開始する来年度以降は農協や市場を通さず百貨店など的高级品を扱う販売店を独自に開拓、流通させたい。
- 上記の販路を考慮すれば、中高年層の健康意識が高く、本当に美味しいものを食べたいと思っている富裕層を狙いたい。

